

宮城



東北総局 〒980-0021
仙台市青葉区中央2-3-6
読売仙台ビル内
電話022-222-4121 F a x 222-8386
メール tohoku@yomiuri.com
石巻支局 0225-96-9601
大崎支局 0229-22-1077

気仙沼通信部 0226-22-6980
白石通信部 0224-25-2296
HP www.yomiuri.co.jp/local/

購読は
Y 0120-4343-81

白石 22-5323 大河原 52-1341
角田 62-3434 石巻 96-9512
小牛田涌谷 25-3314
吉川 21-0151 気仙沼 22-0953
岩沼 22-2532 名取 382-3068
船岡 54-2040 中央 223-2362
長町 248-1318 太白 245-1935
小田原262-2305 仙台北部251-6025
桜ヶ丘278-4475 泉東部351-7727
塙釜 362-8001 多賀城361-3833

【販売事務】 仙台022-262-5807
HP https://www.miyagi-yo
miurikai.com/

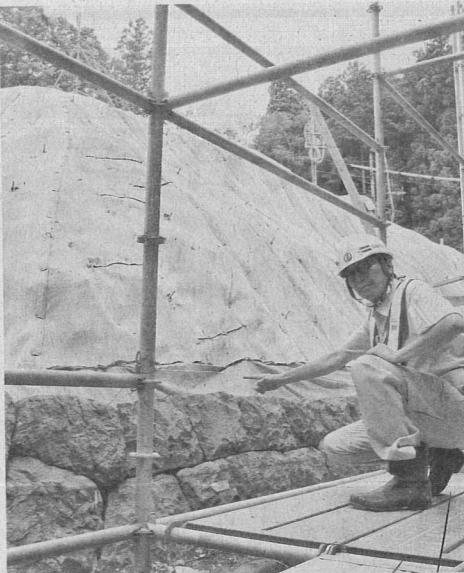
【広告】 仙台
読売エージェンシー東日本022-266-1562
【折込広告】 仙台 022-355-8271
【読売旅行】 仙台 022-222-5811

8月31日(土曜日)
旧 7月28日(仏滅)



月齢26.7
(正午)
仙台標準
日出5.05
日入18.08
月出1.48
月入16.57
鮎川
満潮 0.29
15.40
8.10
20.27
(中潮)

■ あすの暦
仙台高裁で記者会見を開



石の積み直し作業が始まった本丸北西石垣(27日、仙台市青葉区で)

2022年3月の福島県沖地震で被害を受けた国史跡「仙台城跡」で、幅約30mにわたって崩落するなど被害が甚大だった本丸北西門の石垣の積み直し作業が19日から始まった。高耐震強度を確保できる現地工法を導入し、今年度内にも復旧作業を完了する見通し。

仙台市教育委員会が27日

仙台城跡石垣復旧着々

22年地震で被害 年度内にも完了



「地域を超えた連携で復興に協力したい」と語る遠藤さん(15日、仙台市若林区で)

「本当にありがたい話だつた」と志賀浦代表。「宮城の人たちは大震災を乗り越えた。大変な目にあつた人たちが強い。私たちもやれるだけやろうと思う」と前を向く。

もう一つは、シャキシャキとした歯ごたえが特徴の石

の調査・整備委員会で明らかにした。

地震では石垣など12か所で崩落や変形が確認され、

本丸北西石垣を含む4か所で修復作業が続けられてきた。本丸北西石垣には、遺構部分に鉄筋を入れること

で掘削を最小限に減らせる

に施工を終え、積み直しの

作業を本格化させる。

委員長を務める藤沢敦・

東北大教授は「概ね順調に進んでいる」とした上で、「維持し続けてこそその文化財。復旧を重ね、後世に伝えることが大切」と語った。

東京都出身で東大法学部

■ 紛争・事件解決
「適正、迅速に」
仙台高裁長官が抱負
今月16日付で仙台高裁長官に就任した小野瀬厚氏(63)が29日、仙台市青葉区の同高裁で記者会見を開き、「紛争や事件の適正かつ迅速な解決を実現し、利害関係を導入し、今年度内にも復旧作業を完了する見通し。

仙台市教育委員会が27日



小野瀬氏

2022年3月の福島県沖地震で被害を受けた国史跡「仙台城跡」で、幅約30mにわたって崩落するなど被害が甚大だった本丸北西門の石垣の積み直し作業が19日から始まった。高耐震強度を確保できる現地工法を導入し、今年度内にも復旧作業を完了する見通し。

仙台高裁長官が抱負

に施工を終え、積み直しの

作業を本格化させる。

委員長を務める藤沢敦・

東北大教授は「概ね順調に進んでいる」とした上で、「維持し続けてこそその文化

財。復旧を重ね、後世に伝えることが大切」と語った。

東京都出身で東大法学部

能登半島地震で被災した石川県内の飲食関連企業を応援しようと、東日本大震災を機に宮城県産食材のPRに取り組んでいる一般社団法人「食のみやぎ応援団」(仙台市)が、両県の食材を使ったコラボ商品の開発を進めている。みやのとプライドと銘打ち、7月には第1弾として能登町の味噌醸造場と連携した「牛たんうま味噌」など2商品の販売を開始。今年中に10商品の開発を目指す。

能登と仙台の味噌のだ。塩味の利いた能登味噌とコクのある仙台味噌を合わせて飯のお供にも酒のつまみにも合う味わいに仕上げた。仙台市内のアンテナショップやオンラインで販売中

なのだ。塩味の利いた能登味噌とコクのある仙台味噌を合わせて飯のお供にも酒のつまみにも合う味わいに仕上げた。仙台市内のアンテナショップやオンラインで販売中

を離れ、注文は地震前の2割にまで激減した。志賀浦勝代表(67)は「残った原料で仕込みをしなければならず、販売先もなくお先真っ暗だった」と振り返る。

3月に水を確保できるようになり、ようやく仕込みを再開できたものの、取引先の民宿や旅館などは休業が続いている。一般社団法人「石川県食品協会」を通じて支援の申し出があったのはそんな時だった。

「本当にありがたい話だつた」と志賀浦代表。「宮城の人たちは大震災を乗り越えた。大変な目にあつた人たちが強い。私たちもやれるだけやろうと思う」と前を向く。

もう一つは、シャキシャキとした歯ごたえが特徴の石

能登応援食でコラボ

川県産の岩モズクと石巻産のタコの酢の物。商品開発に協力した「かねき食品工業」(気仙沼市)の三浦博英さん(57)は「粘りけが強く、風味も上品。大震災の恩返しができたらうれしい」と話

だ。

同醸造場は明治末期頃から続く老舗で、海からの距離は約300㍍。津波は醸造場の玄関先まで届いた。こうじの発酵部屋やみそ蔵にひび割れが入ったり、積んでいた塩や大豆の入った紙袋が崩れたりした。

県食材PR団体

牛たん、酢の物発売 年内10商品開発へ

障害ある人の作品 135点



メディアアート

障害がある人たちが作った作品を展示する「障がい者芸術世界展」が29日、仙台市青葉区のせんだいメティアホールで始まり、鮮やかな色遣いの絵画や独創的な立体構造物など135点が集まっている。

が並んでいる。

公益社団法人「東北障がい者芸術支援機構」(仙台市)が主催し、10回目の今回は初めて海外からも作品を募集。米国やウクライナ、台湾など25の国・地域と国際アートで始まり、鮮やかな色遣いの絵画や独創的な立体構造物など135点が集まっている。

が並んでいる。

障害がある人たちが作った作品を展示する「障がい者芸術世界展」が29日、仙台市青葉区のせんだいメティアホールで始まり、鮮やかな色遣いの絵画や独創的な立体構造物など135点が集まっている。

が並んでいる。

発表によると、野並容疑者は2022年2月17、18日、東京都港区の40歳代女性に資産家の一族などと偽り、「家族に妻にふさわしいと思つてもらい、結婚をした。外部からの支援の必要性を強く感じたという。

遠藤代表は「大震災の経験地訪れ、手つかずのままになつている倒壊した家屋や、がれきに覆われた道路など被害を目の当たりにしたことだつた。外部からの支援の必要性を強く感じる」。

同応援団は21日、石川県

食品協会と包括的連携協定を

結び、「みやのとプライド」

の商品開発とともに、販路拡

大を進める計画だ。現在、11

月の販売開始を目指し、石川

県産のかまぼこや牛タンを具

材にしたおでんと、金沢市で

生産された加賀野菜」と三

陸のカキの缶詰を開発中と

いう。

同応援団は21日、石川県

食品協会と包括的連携協定を

結び、「みやのとプライド」

の商品開発とともに、販路拡

大を進める計画だ。現在、11

月の販売開始を目指し、石川

県産のかまぼこや牛タンを具

材にしたおでんと、金沢市で

生産された加賀野菜」と三

陸のカキの缶詰を開発中と

いう。

同応援団は21日、石川県

食品協会と包括的連携協定を

結び、「みやのとプライド」

の商品開発とともに、販路拡

大を進める計画だ。現在、11

月の販売開始を目指し、石川

県産のかまぼこや牛タンを具

材にしたおでんと、金沢市で

生産された加賀野菜」と三

陸のカキの缶詰を開発中と

いう。

同応援団は21日、石川県

食品協会と包括的連携協定を

結び、「みやのとプライド」

の商品開発とともに、販路拡

大を進める計画だ。現在、11

月の販売開始を目指し、石川

県産のかまぼこや牛タンを具

材にしたおでんと、金沢市で

生産された加賀野菜」と三

陸のカキの缶詰を開発中と

いう。

同応援団は21日、石川県

食品協会と包括的連携協定を

結び、「みやのとプライド」

の商品開発とともに、販路拡

大を進める計画だ。現在、11

月の販売開始を目指し、石川

県産のかまぼこや牛タンを具

材にしたおでんと、金沢市で

生産された加賀野菜」と三

陸のカキの缶詰を開発中と

いう。

同応援団は21日、石川県

食品協会と包括的連携協定を

結び、「みやのとプライド」

の商品開発とともに、販路拡

大を進める計画だ。現在、11

月の販売開始を目指し、石川